

(様式2)

令和 4 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100606		
法人名	株式会社 大栄		
事業所名	グループホームさくらの里		
所在地	新潟県新潟市南区茨曾根1723番地1		
自己評価作成日	令和4年12月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590100606-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年1月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設周辺には桃や梨の畑が広がり、春には一面に桃の花が咲きます。ホームの中庭では野菜を作り、収穫しています。入居者様は静かな環境の中、季節を感じながら穏やかに過ごされています。入居者様個々のご要望を引き出し、そこに真摯に向かい合うことで安心して生活できるように各職員が努力しています。信頼関係を築き、穏やかに生活できるホームを目指しています。ホームの協力医や訪問看護ステーションと連携し安心してケアを受けられるようにお手伝いしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 自然の中でゆったりと生活できる支援について
グループホーム単独である事業所は、周囲が桃、梨畑に囲まれ、春には一面花が咲き、夏、秋には実がなる環境であり、いわゆる桃源郷を彷彿とさせる場所に位置している。現在は、コロナ禍で外部者との関りは、自粛しているが、その分利用者は、ゆったりとした時間の流れの中で、職員にも余裕が生まれ、細やかな支援がなされ、生活が送れていることが利用者だけでなく職員の表情、利用者への対応にも窺える。
- 地域に見守られ、地域の中での生活者として
コロナ禍以前は、積極的に地域と関わり、相互に行事、催しに参加していた。現在も利用者の直接参加は難しいが、作品を作り参加するなど、できる範囲で活動を支えている。地域からも気にかけてもらい、災害時も声かけ、避難の手伝い等、地域の防災訓練を通し自治会の共通認識となっており、地域に見守れている事業所である。
- 職員が一丸となり支援する姿勢について
事業所は2ユニットを擁しているが、コロナ禍の影響もあり、現在の職員体制から2ユニットとしての稼働は難しい状況にある。職員体制としては、入居利用者に対して、余裕のある体制であるため、利用者一人ひとりに寄り添い、細やかな支援がなされ、利用者、家族の希望があれば最後まで見守る体制も整えている。理念についても管理者は職員が話し合っ作ろうとしている新しい理念に期待しており、その新理念を基に職員全員が同じ方向性をもって支援していこうと考え取り組んでいる。